

高齢ドライバーの交通事故を防止しましょう

高齢化の進展に伴い、年々高齢ドライバーは増加しています。このような中、全国的には、高齢ドライバーによる重大な交通事故が発生し、社会問題となっています。高齢者の運転について、家族で考えてみませんか。



家族と一緒に運転を チェックしてみましょう

ページ番号
1016120

このチェックリストは、高齢ドライバーの運転能力と認知機能を調べるためのものです。現在の運転の状態を家族と一緒にチェックし、解説の内容に当てはまる場合は、運転を継続するか、家族で話し合ってみましょう。

運転行動チェックリスト	解説	チェック
行き先・目的地を運転中忘れる	「もの忘れ」の兆候があります。悪化すれば、今どこを走っているか、分からなくなる可能性があります。	
中央線・センターラインの不注意	距離感などを把握する「空間認知能力」の低下の兆候があります。悪化すれば、対向車との衝突事故などを起こす危険性があります。	
車庫入れ・枠入れの失敗	距離感などを把握する「空間認知能力」の低下の兆候があります。悪化すれば、自損事故や衝突事故などを起こす危険性があります。	
道路標識・信号機の理解	「理解力」あるいは「感情を抑制する力」が低下している兆候があります。悪化すれば、標識・信号の無視による事故を起こす危険性があります。	
速度制限・速度の維持	「集中力」あるいは「感情を抑制する力」が低下している兆候があります。悪化すれば、スピードの出しすぎによる事故を起こす危険性があります。	
交通環境への注意力維持	「注意力」・「集中力」の低下の兆候があります。悪化すれば、他の車や自転車・歩行者を巻き込む事故などを起こす危険性があります。	
運転操作（ブレーキ・ギアチェンジなど）	「集中を維持する力」が低下している兆候があります。悪化すれば、ブレーキとアクセルの踏み間違えによる事故などを起こす危険性があります。	
自動車のメンテナンス（ガソリン・オイルなど）	メンテナンスのし忘れが頻発していれば「もの忘れ」の兆候があります。悪化すれば、路上でのガソリン切れ、エンジン停止などの危険性があります。	
他の交通者への注意維持（歩行者・自転車等）	「注意力」・「集中力」の低下の兆候があります。悪化すれば、他の車や自転車・歩行者を巻き込む事故などを起こす危険性があります。	
車間距離の維持	距離感など「空間認知能力」や、前方の車と適切な距離をとる「判断力」が低下している兆候があります。悪化すれば、前後の車と衝突する事故などを起こす危険性があります。	

提供 上村直人さん（高知大学医師）

安全運転のために

高齢者は身体機能などが変化していることを理解しながら、安全運転を心掛けます。ましよう（右の記事参照）。

■サポカーS 国では、高齢者の交通事故防止に効果が認められる「自動ブレーキ」や「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」などを搭載した車「サポカーS」の普及促進を行っています。車の買い替え時には、検討

してみてはいかがでしょうか。免許の更新はお早めに（※）

高齢者は身体機能などが変化していることを理解しながら、安全運転を心掛けます。ましよう（右の記事参照）。

■サポカーS 国では、高齢者の交通事故防止に効果が認められる「自動ブレーキ」や「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」などを搭載した車「サポカーS」の普及促進を行っています。車の買い替え時には、検討

所2階D3窓口。

▽内容 所要時間10分程度で、身体機能測定器を使い、自分の反応速度を測定し、安全運転などを考える。

▽対象 高齢ドライバーなど。運転免許を持っている人も体験可。

運転に不安を感じたら

が運転する目的や意味を知り、思いを共有することが大切です。また、家族の支援や公共交通の利用についても考えてみましょう。

■運転免許の自主返納制度（※） 運転免許は、自主返納することができます。また、返納した日から5年以内であれば、運転経歴証明書を申請でき（手数料あり）、身分証明書などとして使用できます。

▽会場 生活安心課（市役所）

※詳しくは、運転免許センターもしくは各警察署へお問い合わせください。

◎いきいき70高齢者専用バス乗車券 本市では、高齢者が外出するきっかけづくりとして、70歳以上の人を対象に、1年度1回5,000円相当分の高齢者専用バス乗車券などを交付しています。⑤高齢福祉課 ☎(632)2360